

しょうびん沼の 浚渫工事を (※1)



町長

6年前と同程度の整備を 今後検討

石内 國雄



質問 水辺の森のしょうびん沼には葦が繁茂して、水辺の景観を損ねているが、その対応は。

町長 しょうびん沼は設計当初から「水生植物帯」として整備している。浚渫工事については、土砂の堆積状況にもよるが、6年前に実施したのと同程度を目安にすると、9年後には整備が必要と考えている。

質問 6年前の浚渫工事は800万円かかっており、浚渫はなるべく早くにすべきだ。年々ある程度の対応を定期的にするので、良い環境を維持し、費用も安く抑えられと思う。検討してもらいたい。

町長 今後も検討していきたい。また、公園として全般的な事柄も検討したいと思う。

学校内の放課後児童クラブの進捗状況は

質問 町で初めてとなる学校内の余裕教室を活用した放課後児童クラブ設置の進捗状況は。また、設置には、行政・学校・事業者の協力体制が欠かせないと考えるが。

町長 玉村小学校から提供を受ける余裕教室は、西側の北校舎の1、2階で、使用できるのは放課後のみである。運営予定者からは、終日専用使用できない1、2階のため、児童の見守り支援員の確保が困難で、安全な運営が難しいとの

用排水路の管理と清掃の役割は

質問 高齢化もあり住民による清掃が困難になっている箇所がある。古川の清掃管理と地元住民の役割は。

町長 年一回、住民の協力により、水路清掃で実行範囲で実施していただいている。

町長 都市建設課長 全て町の管理でなく、監視等は地元と考えている。

※1【浚渫とは】
河川や湖沼等の水底を広範囲に掘ること。



水辺の森しょうびん沼に繁茂している葦

藤岡大胡線バイパス 事業の進捗は



町長

効果確認に 県の調査費がついた

磯前島久仁子



質問 バイパスの目的は本線の交通渋滞緩和、経済効果。上飯島交差点から南の滝川までは町の予算で道路拡幅をしたが、その後は進展していない。道路整備には、非常に長い時間がかかるので、積極的に県へ要望するよう望む。

町長 県からは、平成27年から道路線形を検討するための予備的な調査を実施し、今年度は事業効果を確認するための調査費が県予算に計上されたと報告があった。今後も整備促進に向けた要望をしていく。

子どもの発達支援に関する総合窓口を

質問 障害のある子どもにとって、早期に周囲の支援を受けられることはとても重要である。現在、町では保健センターや学校教育課、子ども育成課が相談窓口になっているが、子どもの年齢に関係なく相談できる発達支援センターが必要ではないか。

町長 発達支援センターは、発達に障害のある子どもに対して、社会生活への適応性を高めるための訓練、指導などを行う、発達相談のワンストップ窓口機能を持つ施設だ。対象となる児童が年々増加しているため、センターの設立に向けて検討している。

角刈キャンプ場の管理運営は

質問 角刈のキャンプ場は、いつでも誰でも利用できる場所であり、春から秋にかけてとてもにぎわっているが、ごみの放置、水道のハンドルの盗難などの苦情がある。外国人の利用者も増えているため、マナーを記した看板を設置してはどうか。

町長 利用者の多い4月から10月までは毎週、清掃を行っている。水道の蛇口ハンドルの破損は修理し、トイレは検討したい。



気持ちよく利用できる環境整備を